

平成31年度当初予算（案）及び 平成30年度補正予算（案）における 公定価格の対応について

平成30年国家公務員給与改定に伴う公定価格の対応について

（公定価格の算定方法）

公定価格の算定にあたっては、人件費・事業費・管理費等について、各々対象となる費目を積み上げて算定しており、そのうち、人件費の額については、国家公務員の給与に準じて算定している。

（国家公務員給与改定に伴う公定価格の取り扱い）

- ・平成30年度の国家公務員給与の改定に応じて、公定価格の平成30年度単価表を改定予定。
（保育士及び幼稚園教諭等人件費 + 0.8%程度）
- ・財源は補正予算において対応する予定。
- ・本年度に実施する国家公務員給与の改定に伴う公定価格の改定は、平成31年度からの公定価格の設定にあたって、引き継がれることになる。

（実施時期）

平成30年4月1日（遡及適用）

（参考：平成30年人事院勧告に伴う国家公務員給与改定の内容）

俸給表の水準を引上げ

勤勉手当の引上げ（0.05月分）

2019（平成31）年度の公定価格について

2019（平成31）年度の公定価格については、以下のとおり2段階の改定を行う予定。

2019年4月～

○保育士等の1%の処遇改善

- 処遇改善等加算（賃金改善要件分）の1%上乘せ（全施設共通）

○非常勤講師配置の加算化

- 基本分単価に含まれる非常勤講師配置にかかる費用の配置実態に応じた加算化（1号認定子ども利用定員35人以下又は121人以上の幼稚園・認定こども園）

○居宅訪問型保育事業の保育提供日数に応じた給付

- 常態的に保育を提供しない日の調整について、土曜日に保育を提供しない場合の考え方を適用

その他

- ・ 処遇改善等加算 ・ 賃金改善の確認方法等の運用改善を検討

2019年10月～

消費税率10%への対応（全施設共通）

幼児教育の無償化への対応

- 利用者負担の無償化（3号認定子どもについては市町村民税非課税世帯）
- 1号・2号認定子どもの副食費相当額の加算化及び支援対象の拡大（年収360万円未満相当の世帯及び第3子以降）
新制度に移行していない幼稚園を利用する保護者については、地域子ども・子育て支援事業の「実費徴収に係る補足給付を行う事業」により、新制度園の保護者と同様の世帯等を支援

○栄養管理加算の拡充

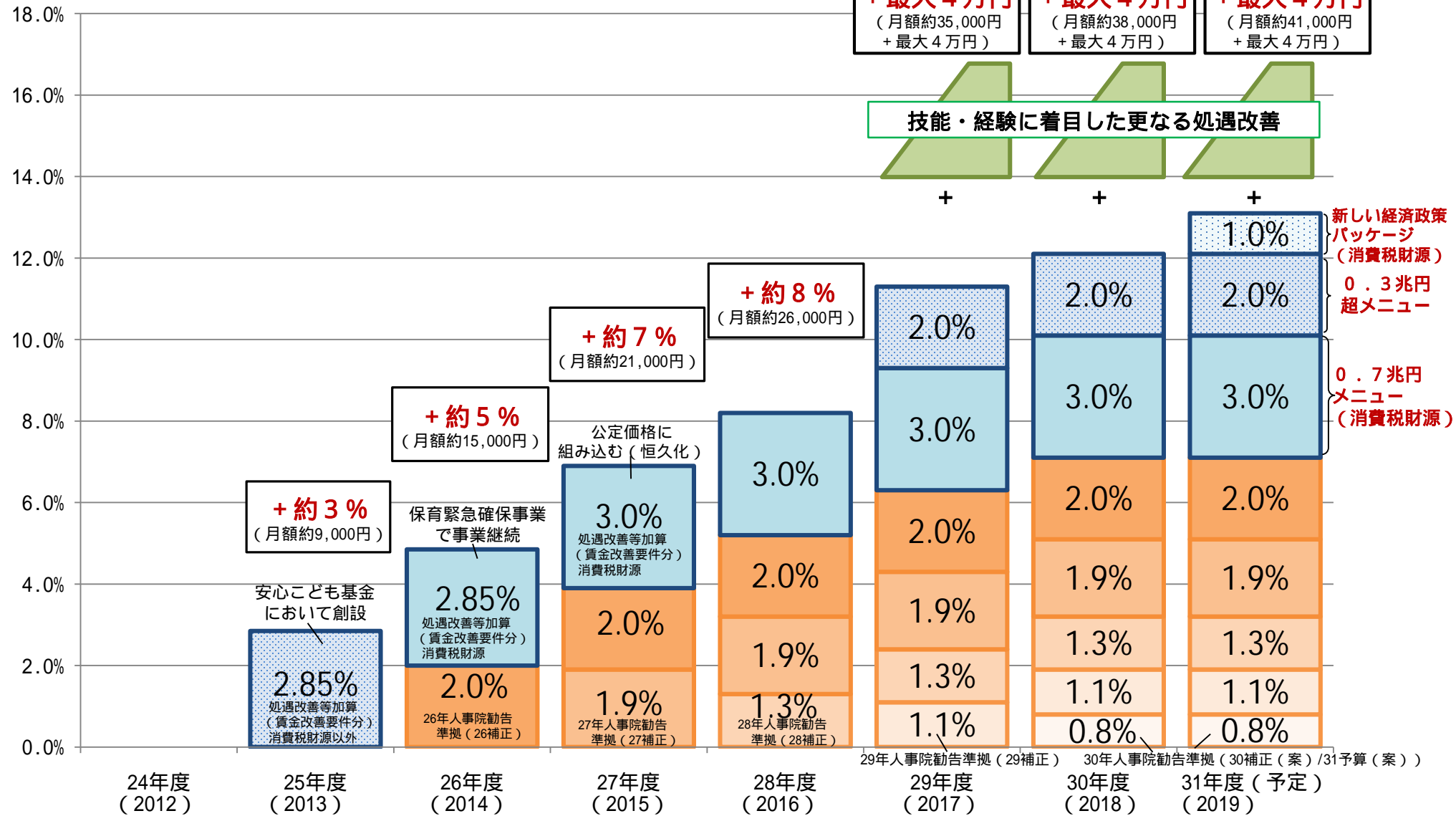
- 現行、栄養士の嘱託のための費用を措置している栄養管理加算について、非常勤栄養士の配置（週3日程度）を可能とするよう拡充（全施設共通）

○チーム保育推進加算の要件の緩和

- 加算の要件である施設における職員の平均勤続年数を、15年以上から12年以上に緩和（保育所）

保育士等の処遇改善の推移

(改善率)



処遇改善等加算 (賃金改善要件分) は、平成25、26年度においては「保育士等処遇改善臨時特例事業」により実施

各年度の月額給与改善額は、予算上の保育士の給与改善額

上記の改善率は、各年度の予算における改善率を単純に足し上げたものであり、24年度と比較した実際の改善率とは異なる。

2019(平成31)年度予算案におけるチーム保育推進加算及び栄養管理加算の拡充について

保育所等の体制充実を図るため、2019年10月より、
 チーム保育推進加算については加算要件を緩和するとともに、
 栄養管理加算について嘱託職員分の費用を措置しているものを非常勤職員の配置に係る費用の措置まで拡充を図る。

	2019年9月まで	2019年10月以降
チーム保育推進加算	<p>(加算概要)</p> <p>チーム保育体制の整備により、保育士の負担軽減や、キャリアに応じた賃金改善による定着促進を通じた全体としての保育の質の向上を図る。</p> <p>以下の場合、1名分の保育士人件費相当分を加算</p> <p>必要保育士数(公定価格の基本分単価及び他の加算等の認定に当たって求められる数)を超えて保育士を配置</p> <p>チームリーダーの位置付け等チーム保育体制を整備し、キャリアを積んだ保育士が若手保育士とともにチームで保育する体制を構築</p> <p>職員の平均勤続年数が 15年以上</p> <p>加算分による増収は、キャリアを積んだ保育士の賃金増や人員配置の増、当該保育所全体の保育士の賃金改善に充てること</p>	<p>(加算概要)</p> <p>チーム保育体制の整備により、保育士の負担軽減や、キャリアに応じた賃金改善による定着促進を通じた全体としての保育の質の向上を図る。</p> <p>○ 以下の場合、1名分の保育士人件費相当分を加算</p> <p>必要保育士数(公定価格の基本分単価及び他の加算等の認定に当たって求められる数)を超えて保育士を配置</p> <p>チームリーダーの位置付け等チーム保育体制を整備し、キャリアを積んだ保育士が若手保育士とともにチームで保育する体制を構築</p> <p>職員の平均勤続年数が 12年以上</p> <p>加算分による増収は、キャリアを積んだ保育士の賃金増や人員配置の増、当該保育所全体の保育士の賃金改善に充てること</p>
栄養管理加算	<p>(加算概要)</p> <p>食事の提供にあたり、栄養士を活用して、栄養士から献立やアレルギー、アトピー等への助言、食育等に関する継続的な指導を受ける施設に加算</p> <p>栄養士を 嘱託するための費用 を措置</p>	<p>(加算概要)</p> <p>食事の提供にあたり、栄養士を活用して、栄養士から献立やアレルギー、アトピー等への助言、食育等に関する継続的な指導を受ける施設に加算</p> <p>栄養士を 嘱託する場合のほか、非常勤栄養士(週3日程度)を配置する場合の費用 を措置</p>